

技術・家庭科（家庭分野）の学習

1 教科の目標

家庭科の授業では、衣食住などの生活の営みの中で関係する見方や考え方を働かせながら、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質や能力を育てることを目標としています。

2 学習のしかた

- ① 家庭科の授業は、主に家庭科室（被服室・調理室）で行います。時間に遅れないように移動しよう！
- ② 学習用具（裁縫用具、エプロン、頭おおい、マスクなど）を各自忘れないように準備しよう！
友達と貸し借りはせず、忘れた時は必ず先生に申し出てください。
- ③ 授業が始まったら、先生の指示や友達の意見などをよく聞き、よく学ぼう！
- ④ 課題についてグループで話し合う活動には、仲間の意見に耳を傾け、協力して取り組もう！
- ⑤ 裁縫・調理用具（ハサミ、針、ほうちょう、ガスコンロ）などは使い方を誤ると危険な用具があります。
正しく安全に使うよう！

3 学習予定

学期	月	学習内容	アドバイス どのような力を身につけるか	評価方法
1	4	家庭科学習ガイダンス	自分の幼い頃を振り返る 幼児の体、心、生活習慣について学ぶ	授業の様子 ワークシート テスト
	5	成長を振り返ろう・課題を見つけよう		
	6	幼児の体・心の発達		
	7	幼児の生活習慣の習得 幼児の生活と遊び		
夏休み		幼児のおもちゃ（布おもちゃの計画を立てよう）		
2	8	幼児のおもちゃ作り（布絵本製作）	裁縫の基礎技術 玉結び、玉どめ、ボタン付け、なみ縫い、たてまつりなど。 幼児と楽しむおやつ	授業の様子 ワークシート テスト
	～			
	10			
	11			
	12	幼児の生活（食事とおやつ）		
		おやつ作り（実習）		
3	1	幼児とのふれあい体験実習計画		授業の様子 ワークシート 作品 テスト
	2	幼児とのふれあい体験実習		
		幼児との関わりのまとめ		
		中学生にとっての家族 学習のまとめ		

4 学習教材

□教科書 新しい技術・家庭（東京書籍） □副教材 技術・家庭総合ノート □ファイル □裁縫用具

5 評価の観点と方法

観点	内 容	評価の方法
知識・技能	家族や家庭の機能、衣食住や消費、環境などについて生活の自立に必要な知識を理解し、それに関係する技能を身につけているか。	テスト・作品 技能テスト
思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして、課題を設定し、解決策を考えたり、実践したことを評価したりして考えたことを論理的に表現しているなどの力が身につけているか。	授業の様子 ワークシート テスト
主体的に学習に取り組む態度	自分と家族、家庭生活や地域との関わりを考えたり、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度が身につけているか。	授業の様子 振り返りテスト ワークシート

6 学習のポイント

- 家族の一員としての自分の役割や周囲の人々との人間関係の大切さについて考えよう。
□今まで学んだ知識や技術を生かして、工夫したり、思考したりしたことを積極的に学習に活かそう。